

ものづくり改善リーダー 育成スクール事業のご案内

コロナ禍によって、2019年度を最後に休止していた「ものづくり改善インストラクター育成スクール事業」は、2024年度にリニューアルして「ものづくり改善リーダー育成スクール事業」に改称し、開講致しました。今年度も10月1日から実施することになりました。本事業にご理解いただき、ご活用いただきますようご案内申し上げます。

■事業内容

- (1) ものづくり現場で抱えている諸問題を顕在化させ、マクロとミクロの視点で分析し、合理的な対策を示して解決へと導く、いわゆる課題形成力を有する「改善リーダー」の育成を図ります。
- (2) そのために座学として、「ものづくりの基礎講座」と「改善の進め方講座」の講義を行います。更に、実践力の向上を図るべく、改善の進め方の各手法について、演習に取り組む場を設けています。
- (3) スクール修了要件を満たした参加者には「幸田ものづくり改善リーダー」として認定されます。
- (4) スクール終了後、修了者は自社の「改善計画」に取り組んでいただきます。その際には、スクールの講師が改善計画の現場に赴き、修了者に指導と助言を行って、改善成果に結びつけると共に、改善リーダーとしての独り立ちを支援します。

■応募対象者

- ・ものづくり企業における現場責任者および現場リーダークラス 等
- ・ものづくりに関心を持つ方（企業OB等）

■定員

6名

■事業協力

一般社団法人 ものづくり改善ネットワーク（MKN）
（東京大学ものづくり経営研究センターの後継団体）

■講師

- ・東京大学ものづくり経営研究センタースクール修了生
- ・当スクール修了生
- ・外部専門家

■受講料

25,000円/人

■実績（スクール修了生・2025年累計）

- ・現役 46名
- ・OB 6名



2025年 講義状況

■開講期間

令和8年10月1日（木）から令和9年1月29日（金）までの16日間
 詳細は、下記のカリキュラムをご覧ください。

<令和8年（2026年）度のカリキュラム>

これまでの受講生の声を取り入れたカリキュラムに改編!!

令和8年(2026年)度 ものづくり改善リーダー育成スクール カリキュラム

分類	No.	開催日	9:00	10:00	11:00	昼休み	13:00	14:00	15:00	16:00
座学 ものづくりの基礎	1	10月	1日(木)	開講式	改善リーダーの心構え&安全 (秦講師)			制約条件の理論(ゴールドラット)① (飛田講師)		
	2		2日(金)	制約条件の理論(ゴールドラット)② (飛田講師)			制約条件の理論(ゴールドラット)③ (飛田講師)			
	3		9日(金)	ものづくりの基礎/ものづくりの全体構図(生産管理含む) (三木講師)			ものづくりの基礎/品質管理 (三木講師)			
	4		16日(金)	ものづくりの基礎/納期について (三木講師)			ものづくりの基礎/原価について (岩出講師)			
座学 改善の進め方	5	11月	23日(金)	ものづくりの基礎/4M (秦講師)			改善の進め方/IE&標準作業 (三木講師)			
	6		30日(金)	データの取り方&まとめ方 (三木講師)			改善の進め方/問題発見の着眼点&QCストーリー (秦講師)			
	7		6日(金)	改善の進め方/得する見方&考え方 (三木講師)			改善の進め方/IoTの活用 (岩出講師)			
演習 改善手法	8	11月	13日(金)	QCツールの活用法(演習)/QC七つ道具(グラフ、特性要因図、パレート図、etc) (三木講師)						
	9		20日(金)	QCツールの活用法(演習)/新QC七つ道具(親和図、連関図、系統図、etc)&VSMの作成 (秦講師)						
	10		27日(金)	改善の進め方/なぜなぜ分析 (秦講師)				自社の抱える問題解析 (三木講師)		
	11	12月	4日(金)	改善手法(演習)/標準作業(組立作業⇒標準作業票へ) (三木講師)						
	12		11日(金)	改善手法(演習)/ものづくり演習 (三木講師)						
	改善手法	13	1月	8日(金)	改善手法(演習)/ものづくり演習 (秦講師)					
14		15日(金)		トヨタ産業技術記念館/ディスカッション&見学のまとめ (三木講師)				(秦講師)		
15		22日(金)		ものづくり総合演習(IoTの実践的活用)&自社改善計画検討 (岩出講師)						
16		29日(金)		改善計画発表の準備とまとめ (三木講師)				改善計画の発表&討論 (秦講師)		修了式

*講師につきましては、変更する場合があります。

○カリキュラムの主な見直し点

1. 地域密着型の指向

従来の座学は、ややアカデミック的過ぎる内容も含まれていたもので、地元のものづくり現場の実情に即して、基本重視の講座に絞り込んでいます。

2. 演習時間の大幅拡大

諸般の事情により、協力していただく企業での「現場改善実習」が出来ない代わりに、各種の改善手法の演習時間を大幅に増やして、実践力の向上を図ります。

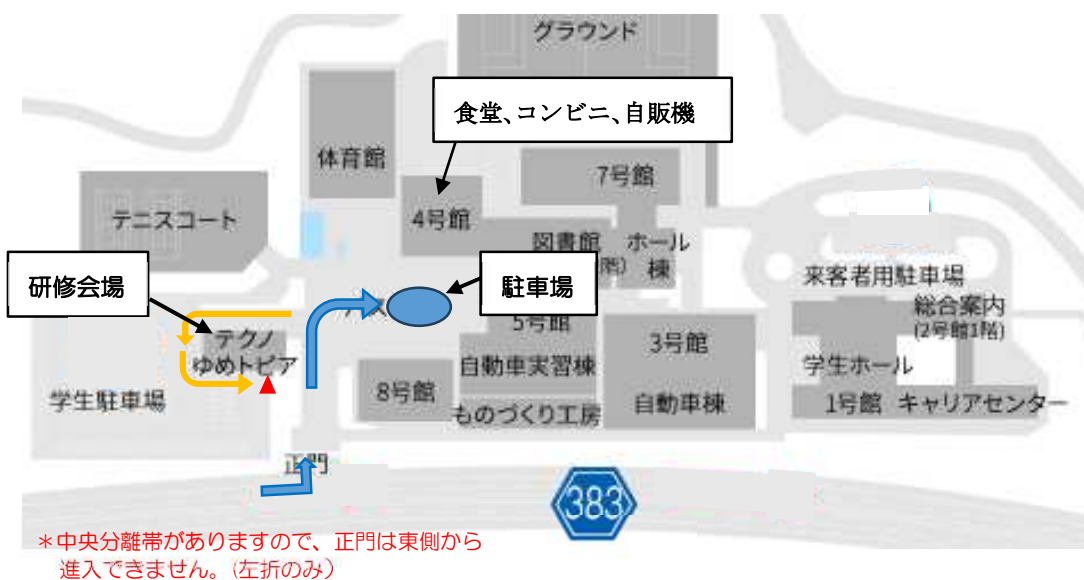
■修了式へのご出席のお願い

スクール受講者の上司の方は、修了式（令和9年1月29日（金））にご出席いただき『自社の改善計画の発表』と『修了認定証』の授与への立ち合いをお願い致します。

■会場

幸田ものづくり研究センター

(愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2 愛知工科大学 テクノゆめトピア館3階) 等



■お申し込み方法

9月4日(金)までに「受講申込書」に必要事項を記載の上、下記まで Email でお申し込みください。後日受講料の納付書を送付します。

幸田ものづくり研究センター (事務局 幸田町企業立地課内)

〒444-0192 幸田町大字菱池字元林1-1

TEL 0564-62-5100 (直通)

Email companylocation@town.kota.lg.jp